

「退職金」は、労働者が退職したときに受け取ることができる賃金です。「退職金」については、法律で定められたもの（必ずもらえるもの）ではないため、就職の際は、「退職金制度」または「退職金共済」のあるなしを必ず確認しましょう。

今回のテーマ

〈退職金とは？複雑な制度をアバウトに解説！〉

I 「退職金制度」「退職金共済」の違い

- ① 「退職金制度」とは、企業が直接退職金を支給する制度
- ② 「退職金共済」とは、企業が契約している共済から支給される制度。
- ③ 「退職金は存在しない」という大企業もある。退職金については、ホワイト企業とかブラック企業とかの判断材料にはならない。

II 「退職金」は定年退職のときに支給されるの？

- ① 一般的には、2年以上正社員として勤務していれば対象になる。
- ② 当然、勤務期間が2年程度では、支給金額も残念なほど低額である。

III 退職金の正体とは？

- ① 退職金は、「毎月自分の給料から引かれた金額（掛け金）が、退職時に戻ってくるもの」である。
- ② そのため、在籍2年未満での退職等、退職金支給対象にならないケースでは、掛け金の払い損となる。
- ③ 逆に、退職金が存在しない企業の給料（手取り）は、高めである。

IV ちなみに…。

- ① 退職金として積み立てられている莫大な金額は、安全な資産運用にまわされ、各企業の収入源にもなっている。
- ② たとえば、「公宅と呼ばれる公務員専用の住宅」は、「税金」ではなく、「関係公務員によって積み立てられた退職金の資産運用による収入」により建設されている。